

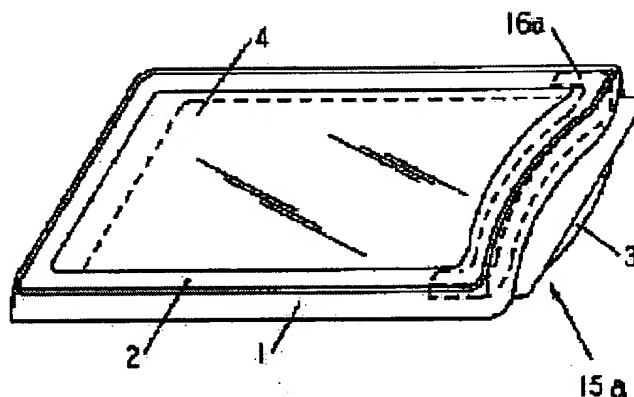
**ADVERTISEMENT PUT UP FIXTURE FOR VEHICLE AND MANUFACTURE THEREOF**

**Patent number:** JP9104294  
**Publication date:** 1997-04-22  
**Inventor:** ADACHI SHIGERU  
**Applicant:** ADACHI SHIGERU  
**Classification:**  
- international: B60R13/00; G09F7/00; G09F21/04  
- european:  
**Application number:** JP19950297939 19951009  
**Priority number(s):**

**Abstract of JP9104294**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an advertisement put up fixture for a vehicle and a method of its manufacture which can simply instantaneously put up and remove a printed advertising article of advertisement, information poster, etc., beautifully color graphic treated on/from a body of an automobile.

**SOLUTION:** A clear sheet 4 excellent in an antifouling property protecting an advertising article and a magnetic sheet 3 supporting the advertising article with the clear sheet 4 further to be made mountable/demountable relating to a vehicle are fixed to a flexible picture frame unit 1 formed in a predetermined size by forming an advertising article insertion/removal port, which can insert/ remove the advertising article, respectively in a suitable position.



Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

(19) 日本国特許庁 ( J P )

(12) 公開特許公報 ( A )

(11) 特許出願公開番号

特開平 9 - 1 0 4 2 9 4

(43) 公開日 平成 9 年 ( 1 9 9 7 ) 4 月 2 2 日

(51) Int. Cl.	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B60R 13/00			B60R 13/00	
G09F 7/00			G09F 7/00	E
21/04			21/04	E

審査請求 未請求 請求項の数 8 書面 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平 7 - 2 9 7 9 3 9

(22) 出願日 平成 7 年 ( 1 9 9 5 ) 1 0 月 9 日

(71) 出願人 5 9 5 1 6 1 5 0 0

安達 繁

埼玉県狭山市大字水野 2 3 3 番 2 2

(72) 発明者 安達 繁

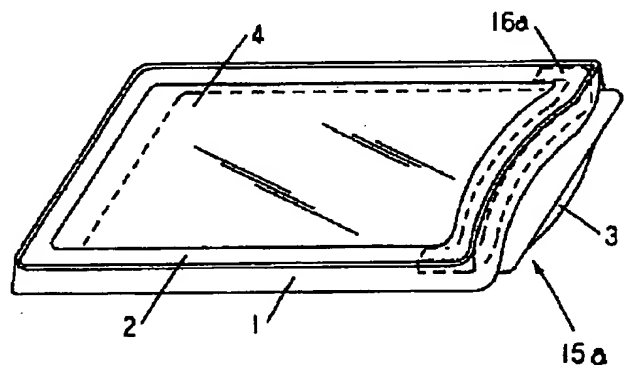
埼玉県狭山市大字水野 2 3 3 番 2 2

(54) 【発明の名称】 車両用掲出具並びに車両用掲出具の製造方法

(57) 【要約】

【目的】 自動車のボディに美しいカラーグラフィック処理された広告及び広報ポスター等の印刷広告物を簡便にして即座に掲出、撤去が行える車両用掲出具並びに車両用掲出具の製造方法を提供する。

【構成】 予め定められた大きさに形成された可撓性の額縁枠体に、広告物を保護する防汚性の優れたクリアシートと、広告物を前記クリアシートとで支持し、且つ車両内に対し着脱自在に成す磁性体シートを、それぞれ適位置に広告物が挿脱自在になる広告物挿脱口を形成して貼着して成ることを特徴とする車両用掲出具。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 予め定められた大きさに形成された可撓性の額縁枠体に、広告物を保護する防汚性の優れたクリアシートと、広告物を前記クリアシートとで支持し、且つ車両に対し着脱自在に成す磁性体シートを、それぞれ適位置に広告物が挿脱自在になる広告物挿脱口を形成して貼着して成ることを特徴とする車両用掲出具。

【請求項 2】 前記磁性体シートの広告物挿脱口側の端部中央に切欠部を設けた請求項 1 に記載の車両用掲出具。

【請求項 3】 前記広告物挿脱口に、該挿脱口を密着する封止機構を設けた請求項 1 に記載の車両用掲出具。

【請求項 4】 前記額縁枠体の外面に加飾を施した請求項 1 に記載の車両用掲出具。

【請求項 5】 前記額縁枠体の広告物挿脱口に、盗難防止用のロックループが取り付けられる穴を設けた請求項 1 に記載の車両用掲出具。

【請求項 6】 合成ゴムまたは柔軟性のある合成樹脂材の枠体を押出成形する枠体押出成形工程と、この枠体の外面に加飾を施す加飾成形工程と、枠体を予め定められた大きさの広告物に用いるのに適した長さに形成する切断成形工程と、切断された枠体を額縁形状に折り曲げ、且つ切断面を接着する折曲接着成形工程と、この折曲接着成形工程後に枠体の両切断面を一体に接合する接合成形工程と、広告物を保護するクリアシートと、広告物を前記クリアシートとで支持し、且つ車両に対し着脱自在に成す可撓性の磁性体シートを、それぞれ適位置に広告物が着脱自在にな広告物挿脱口を形成して貼着する貼着形成工程とから成ることを特徴とする車両用掲出具の製造方法。

【請求項 7】 前記折曲接着成形工程は、一体に成形した可撓性のある屈曲可能な枠体の屈曲位置に於いて、枠体の下縁よりほぼ上縁に達するまで 90° の V 字状の開口部を設け、枠体屈曲時この開口部縁を互いに接面させて所要の折り曲げを成し、この接面を接着剤をもって一体に接合して成ることを特徴とする請求項 6 に記載の車両用掲出具の製造方法。

【請求項 8】 前記枠体の外面に施す加飾がアルミ箔ラミネー、または有色合成樹脂接着テープであることを特徴とする請求項 4 又は 6 に記載の車両用掲出具並びに車両用掲出具の製造方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、車両（自動車、電車）等の鋼板ボディの外側に広告及び広報ポスター等の印刷広告物を簡便にして即座に掲出、撤去が行える車両用掲出具並びに車両用掲出具の製造方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 電車内には、広く一般の人々の目に付く

種々の広告物が古くから掲出されているものの、自動車に於いては電車内に見られる広告物の掲出は皆無である。僅かに自社の社名ロゴマーク等がドアに塗装（印刷）された商業車、またタクシーのリヤ部に設置されている広告灯、リヤウインドーに貼られているステッカー等が見られるだけである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 これら商業車の社名ロゴマーク等は広告とはいえず、またタクシーにあっては後続車両等の後方からしかその存在を認めることができず、その広告物の掲出位置、サイズ共に広く一般の人々に有効な広告物として認められるには甚だ不十分であった。更に、これら広告物は即座に掲出、撤去が行えるものではなかった。

【0004】 そこで、本発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、日常生活に於いて昼夜の区別が無く、特に都市部に於いて一般の人々（消費者）が絶えず屋外で接触する機会を最も多く持つ自動車を、新たに広告媒体のツールとして利用するために、自動車のボディに美しいカラーグラフィック処理された広告及び広報ポスター等の印刷広告物を簡便にして即座に掲出、撤去が行える車両用掲出具並びに車両用掲出具の製造方法を提供することを課題とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため、本発明の車両用掲出具は、予め定められた大きさに形成された可撓性の額縁枠体に、広告物を保護する防汚性の優れたクリアシートと、広告物を前記クリアシートとで支持し、且つ車両に対し着脱自在に成す可撓性の磁性体シートを、それぞれ適位置に広告物が挿脱自在になる広告物挿脱口を形成して貼着して成るものであり、前記広告物挿脱口に、該挿脱口を開口するための切欠部と、該挿脱口を密着する封止機構を設け、前記額縁枠体の外面に加飾を施し、さらに額縁枠体の広告物挿脱口に盗難防止用のロックループが取り付けられる穴を設けたものである。

【0006】 また、上記課題を解決するための更に本発明の車両用掲出具の製造方法は、合成ゴムまたは柔軟性のある合成樹脂材の枠体を押出成形する枠体押出成形工程と、この枠体の外面に加飾を施す加飾成形工程と、枠体を予め定められた大きさの広告物に用いるのに適した長さに形成する切断成形工程と、切断された枠体を額縁形状に折り曲げ接着する折曲接着成形工程と、この折曲接着成形工程後に枠体の両面を一体に接合する接合成形工程と、広告物を保護するクリアシートと、広告物を前記クリアシートとで支持し、且つ車両に対し着脱自在に成す可撓性の磁性体シートを、それぞれ適位置に広告物が着脱自在にな広告物挿脱口を形成して貼着する貼着形成工程とから成るものである。

【0007】 また、前記折曲接着成形工程は、一体に成

形した可撓性のある屈曲可能な枠体の屈曲位置に於いて、枠体の下縁よりほぼ上縁に達するまで90°のV字状の開口部を設け、枠体形成のための屈曲時にこの開口部縁を互いに接面させて所要の折り曲げを成し、この接面を接着剤をもって一体に接合して成るものである。

【0008】また、前記枠体の外面に施す加飾がアルミ箔ラミネー、または有色合成樹脂接着テープである。

【0009】

【作用】合成ゴムまたは柔軟性のある合成樹脂材にて自在に屈曲・湾曲する額縁枠体の底面に、天板として透明の合成樹脂製の可撓性クリアシートを貼着する。更に底板として非着磁面を内面にした磁性体シートであるゴム磁石シートを、広告物挿脱口を形成する1辺を除いて貼着する。尚、このクリアシートとゴム磁石シートとの空間が広告物挿入間隙となる。

【0010】広告物を本車両用掲出具に挿入する場合は、指を広告物挿脱口を形成するゴム磁石シートの切欠部に掛け開口する。すると磁力にて吸着していた合成ゴムまたは柔軟性のある合成樹脂材の額縁枠体の広告物挿脱口辺、及び可撓性のゴム磁石シートが分離し湾曲変形して膨出した形状の挿脱口が形成される。次いで広告物を手の平に添えて奥まで挿入したことを確認した後、手を引き抜く。すると額縁枠体及びゴム磁石シートの材質が持つ剛性復元力で、広告物挿脱口を塞ごうとする力が作用する。更にこの広告物挿脱口辺部位にあっては、額縁枠体のU溝にゴム磁石棒が、ゴム磁石シートには薄鉄片から成る封止機構設けられているため、広告物挿脱口が磁力にて密着する。よって広告物は、雨は無論のこと風や雪等から完全に守られる。

【0011】また、額縁枠体表面に意匠枠板であるアルミ箔ラミネーテープまたは有色合成樹脂接着テープ、薄鉄板を付設けることで、外観デザインと更に色彩面での向上を増し、一層の高級感を醸し出すことが出来る。

【0012】本車両用掲出具を掲出する時は、該掲出具を車体の任意のボディ鋼板位置に軽く押し当てるだけで、掲出具全体が車体の曲面に馴染み自在に屈曲・湾曲する。そしてゴム磁石シートの磁力にて完全に密着した状態で吸着するので即座に掲出が行える。これは総て本製品が可撓性のある屈曲可能な材質にて構成されている故である。仮に硬質の部材が一点でもあると屈曲可能にならず、湾曲した車両のボディには掲出が行えないものである。また本車両用掲出具の一端部を挟持しめくれば、簡便に且つ即座に取り外すことが出来る。

【0013】また、額縁枠体の広告物挿脱口辺近くに貫設したロックループ通穴にロックループを通し、次いで自動車のサイドミラーに取り付け、鍵を掛ければ本車両用掲出具の盗難防止となるものである。

【0014】上記製造方法によれば、押し出し成形機に合成ゴム系または柔軟性の合成樹脂材レンジを注入し、加熱加圧して金型ノズルから異型押し出し成形品としての枠

体を成形製造する。

【0015】この成形製造に連続して、額縁枠体の外面全体または一部の適位置にアルミ箔のラミネーシートを加飾するか、組立後、有色合成樹脂接着テープを貼付し加飾する。

【0016】次ぎに前記、一体形成された枠体を予め定められた大きさの広告物に用いるのに適した長さに切断し、その後、広告物挿脱口辺部位の裏面に形成されているU溝に、ゴム磁石棒を埋設し固着する。

【0017】切断された枠体を額縁形状に折り曲げるため、4箇所の屈曲位置に枠体の下縁よりほぼ上縁に達するまで90°のV字状の開口部を設ける。

【0018】枠体の開口部縁を互いに接面するまで内側に折り曲げて接着し所要の額縁形状にする。その後、4箇所の接面を瞬間接着剤で整形する。この時、開口が枠体のほぼ上縁まで達しているため各コーナーはアール形状となる。次いで切断した両面を接着する。

【0019】広告物を保護する軟質の透明の合成樹脂製のクリアシートと、広告物を前記クリアシートとで支持し、且つ車両に対し着脱自在に成す可撓性の磁性体シートそれぞれを所要の形状サイズにピク抜き加工する。

【0020】広告物挿脱口を成す額縁枠体の一辺よりやや長い底面U溝に、該一辺長さ相当のゴム磁石棒を埋設し、該ゴム磁石棒に対向して薄鉄片をゴム磁石シートにそれぞれ接着する。その後、前記クリアシートを額縁枠体の底面の適位置に貼着する。そしてゴム磁石シートを前記広告物挿脱口の1辺を除いて額縁枠体の底面の適位置に貼着する。その後に本車両用掲出具をプレス圧着して整える。

【0021】

【実施例】以下、本発明の実施例を添付図面に基づき詳述する。図1は本発明の車両用掲出具で、可撓性のある屈曲可能な額縁を成す額縁枠体1と、額縁枠体表面の加飾を成す可撓性の意匠枠テープ2と、底板を成す可撓性のゴム磁石シート3と、広告物を保護すると同時に外部に見せるための透明の可撓性の合成樹脂製クリアシート4とから構成される。

【0022】図2は、前記額縁枠体を成す枠体を示す斜視図である。同図に於いて、100は合成ゴムまたは柔軟性のある合成樹脂材を押出成形した枠体である。

【0023】前記、意匠枠テープ2はその一実施例としてアルミ箔ラミネーテープ20であって、枠体100の成形製造後、直ちに該枠体100に固着するものである。該アルミ箔ラミネーテープ20は、図3に示すように、ポリエステルフィルム20a、その下にアルミ箔20b、更に塩化ビニールフィルム20cとから構成されているので、その表面を有色可能にすると共に可撓性を有するものである。このアルミ箔ラミネーテープ20を枠体100の表面等の外面に接着固定することで額縁枠体1の外面を加飾し意匠性を高めるものである。尚、ア

ルミ箔ラミネーターテープ 20 の替わりに有色合成樹脂接着テープでも差し支えない。

【0024】10は角切欠部で、図4に示すように、枠体100の下縁100aよりほぼ上縁100bに達するまで、90°のV字状の開口部10aを形成している。

【0025】これにより図5に示すように、枠体100の開口部縁10b、10bが互いに接面するまで内側に折曲げて接着し、所要の額縁枠体1の縦辺、横辺を形成する。この時、4箇所の外辺コーナーはアール形状となってデザイン的にも優れたものになる。この角切欠部10は、図6に示すように、予め把握しておいた各種広告物のサイズ（縦・横）に適合する箇所に形成するものである。

【0026】11a、11bは、枠体100を予め把握しておいた各種広告物のサイズに切断した切断面であり、図6に示すように、この切断した両面を接着して額縁枠体1を形成する。12a、12bの2辺は横辺部であり、13a、13bの2辺は縦辺部でありそれぞれ対に等寸法である。

【0027】14は車両に取り付けた際の風の抵抗を排除するための傾斜面である。自動車の速度が増す毎に風速が増大する。この時、該傾斜面に加わる風圧ベクトルFは、図7に示すように、垂直ベクトルF1と平行ベクトルF2に分解される。この垂直ベクトルF1が車体のボディに加圧される圧力となって作用する。これにより本来持っている後述するゴム磁石シート3の磁力に加えて風圧加圧が働き、本車両用掲出具の飛散や脱落を防ぐ役割を果たすものである。

【0028】額縁枠体1の裏面は、図8の額縁枠体の断面図、図9の額縁枠体の裏面斜視図に示すように、ゴム磁石シート3が貼着できるようにその厚み分、掘り下げてL型の底板落込段15が、更に中央長手方向にU溝16が成型されている。

【0029】更に、底板落込段15の1辺の広告物挿脱口15aには、額縁枠体1の押出成形時に形成されるU溝16に、ゴム磁石棒16aを図8に示すように裏面がフラット状態になるように埋設し固着する。

【0030】更に前記、底板落込段15より一段掘り下げて、後述するクリアシート4を貼着するクリアシート落込段17がL型に成型されている。尚、前記底板落込段15と、クリアシート落込段17の間の空間が広告物挿入間隙18である。

【0031】尚、額縁枠体1の広告物挿脱口15a辺部に貫設した穴は、ロックループAを通し、次いで該ロックループAを自動車のサイドミラーに取り付け、鍵を掛けて本車両用掲出具の盗難防止を成すロックループ通穴1aである。

【0032】次に上記額縁枠体1の底板を成し、所要サイズにビク抜きした可撓性の磁性体シートであるゴム磁石シート3の非着磁面を内面にして、広告物挿脱口15

aを形成する1辺を除いて底板落込段15に貼着する。

【0033】更にゴム磁石シート3には、図10に示すように、前記ゴム磁石棒16aと対向する位置に薄鉄片30が設けられている。これにより、該ゴム磁石棒16aと薄鉄片30が磁力にて吸着する封止機構を成すものである。よって通常の状態では、広告物挿脱口15aが閉塞状態と成る。

【0034】また、この部位のゴム磁石シート3の端部中央には、切削またはプレス加工により切欠部31を形成する。この切欠部31は、広告及び広報ポスターを挿入する時の指掛部で、広告物挿脱口15aを大きく開口するものである。

【0035】4は、所要サイズにビク抜きした可撓性の透明の合成樹脂製クリアシートである。撥水性、撥油性、防汚性、耐久性に優れ広告物を保護する。

【0036】以上のように成した、本車両用掲出具をプレス圧着して整え完成するものである。尚、図11は車両用掲出具の裏面斜視図、図12は広告物の挿入状態を示す車両用掲出具。また図13は本発明の車両用掲出具を自動車に掲出した斜視図である。

【0037】以上説明した、本発明の車両用掲出具の形状は、図に示したように矩形を始めとし正方形、円形、半円形、八角形、ひし形等と形状・サイズ共にユーザー要望に応じられるものである。

【0038】尚、上記した円形、半円形製品にあっては、その円形部分に図14、図15に示すようなV溝の切欠100cを枠体100裏面に設けて再加熱し整形する。

【0039】また上記説明した、枠体100を額縁形状に成す角切欠部10の、第2の実施例を図16に示す。角切欠部50は略T字型で、枠体100の下縁100aよりほぼ中央に枠体100と平行に設けた平滑51と、この平滑51の中央より枠体100の下縁100aまで外方向に大きく開口した90°のV字状の開口部52とから構成されていて、前記、平滑51は開口部縁53a、53bが互いに接面するまで屈曲する際の内部の歪み取りを行うものである。これにより角切欠部10と同様、各コーナーは奇麗なアール形状となる。

【0040】また、上記説明した意匠枠体2はアルミ箔ラミネーターテープ20の他に、ビク抜きまたはプレス抜き加工した、有色の可撓性のある合成樹脂板や薄金属板などでも良い。

【0041】以上、押出成形による額縁枠体1の車両用掲出具について説明してきたが、射出成形に於いても本発明の範囲に含まれるものであって、更にこの点について説明する。

【0042】射出成形に於いては、枠体押出成形工程によって成形された枠体100を、予め定められた大きさの広告物に用いるのに適した長さに形成する接断成形工程と、この接断された枠体100を額縁形状に折り曲

10

20

30

40

50

げ、且つ切断面を接着する折曲接着成形工程が不要である。

【 0 0 4 3 】更に詳述すると、額縁枠体 1 の広告物挿脱口 1 5 a にゴム磁石棒 1 6 a の埋設、次に該ゴム磁石棒 1 6 a と対向する位置に薄鉄片 3 0 を貼着した後にプレス抜きによる切欠部 3 1 を形成したゴム磁石シート 3 と、同様にビク抜きまたはプレス抜き加工されたクリアシート 4 を、額縁枠体 1 の裏面からクリアシート落込段 1 7 にクリアシート 4 を、ついで広告物挿脱口 1 5 a の一辺を除いて、底板落込段 1 5 にゴム磁石シート 3 の順

に接着貼着して完成されるものである。

【 0 0 4 4 】次に、上記説明した車両用掲出具並びに車両用掲出具の製造方法の、第 2 の実施例を図 1 7 から図 2 1 を基に説明する。枠体 2 0 0 をゴム磁石材で異形押し成形する。そして一体形成された枠体 2 0 0 を予め定められた大きさの広告物に用いるのに適した長さに切断した後、額縁枠体 6 0 に成す工程は上記説明と同様である。

【 0 0 4 5 】更に、額縁枠体 6 0 の内側には、後述する、底板 6 2 とクリアシート 6 3 を挟み込む挟持溝 6 0 a が、表面には意匠枠板 2 であるところの合成樹脂板または薄金属板 2 2 を取り付け意匠枠体取付溝 6 0 b が形成されている。6 0 c は本車両用掲出具である、額縁枠体 6 0 と、底板 6 2 と、クリアシート 6 3 を共締めする共締め穴である。6 0 d は共締めに使用するボルト、ネジ等の頭の逃げ溝である。

【 0 0 4 6 】前記、広告物挿脱口 6 1 は、額縁枠体 6 0 の 1 辺を水平に二割して成したものである。これが上記、封止機構のゴム磁石棒 1 6 a と薄鉄片 3 0 の役割を果たすものである。

【 0 0 4 7 】次に、底板 6 2 の裏側には補強ゴム磁石片 6 2 a が適宜位置に接着されている。尚、該ゴム磁石片 6 2 a は、額縁枠体 6 0 と同一高さである。またこの場合、底板 6 2 は可撓性の有る合成樹脂シートまたは薄鉄板で良い。

【 0 0 4 8 】また底板 6 2 とクリアシート 6 3 の裏側に広告物挿脱口 6 1 の 1 辺を除いて、一実施例としてのスポンジ 6 4 を両面テープで接着する。このスポンジ 6 4 内の空間が広告物挿入間隙 6 5 と成る。

【 0 0 4 9 】以上のように構成した、第 2 の車両用掲出具は、所定の形状に一体形成された枠体 2 0 0 を額縁枠体 6 0 に成した後、広告物挿脱口 6 1 を形成する。

【 0 0 5 0 】次いで、広告物挿入間隙 6 5 を形成した底板 6 2 とクリアシート 6 3 を、額縁枠体 6 0 の挟持溝 6 0 a に嵌合する。また前記、広告物挿脱口 6 1 の両端部及び底辺部を接着する。

【 0 0 5 1 】この後、額縁枠体 6 0、底板 6 2、クリアシート 6 3 の四隅を共締めにする。尚、共締め穴 6 0 c 及び逃げ溝 6 1 e は、予め所定の位置にそれぞれ明けておいても良いし、また組立後、明けても良い。

【 0 0 5 2 】最後に、合成樹脂板または薄金属板 2 2 の意匠枠板 2 を意匠枠体取付溝 6 0 b に▲かん▼合接着した後、前記、額縁枠体 6 0 の底面の逃げ溝 6 0 d を目張りテープで貼り、デザインの向上を図る。

【 0 0 5 3 】このように成したことにより、自動車のボディに磁気吸着する、高額なゴム磁石シート 3 を不要なものとする。よって大型サイズの場合の車両用掲出具を低コストに製造することが可能となり、大型物でも容易にして安価に提供できるものである。

【 0 0 5 4 】以上、本発明の掲出具は車両用と言うことで説明してきたが、各種屋内外の壁、ショーウィンド等にも掲出が可能なものである。この場合、図 2 2、図 2 3 に示すように、底板となるゴム磁石シート 3 に変わって柔軟性のある合成樹脂シート 7 0 に置き換える。

【 0 0 5 5 】先ず、木製パネルまたはクロス壁に掲出するときの合成樹脂シート 7 0 には、適宜箇所に木ネジ等と係止する係止穴 7 1 を設ける。次に、ショーウィンドに掲出する場合の合成樹脂シート 7 0 には、その四隅に吸着盤 7 2 を圧入して設ける。これらにより、本発明の掲出具は車両用以外にも適用されるものである。

【 0 0 5 6 】更に本発明の車両用掲出具をそのままスチールのキャビネットや壁、またはボード、非鉄板部位の布壁のコンクリート壁に掲出する場合は、図 2 4 に示すように、額縁枠体の一辺の近似長さを有するスチールアタッチメント 8 0 をアダプターとして使用することで掲出可能にするものである。このスチールアタッチメント 8 0 の構造は至ってシンプルのものであって、適宜幅の鉄板 8 1 にタック材 8 2 を有する両面テープを貼着して成るものであり、掲出場所にこのスチールアタッチメント 8 0 を 2 ～ 3 個平行に配置し、タック材を剥して壁に固定貼着することで、本発明の掲出具をそのままの状態ですべていつでも即座に掲出及び撤去が行えるものである。

【 0 0 5 7 】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明の車両用掲出具は、額縁枠体を成す底板のゴム磁石シートの磁気吸着作用の利用により、商業車や乗用車の車体の任意のボディ（フロント及び両サイドのドア部）に軽く押し当てただけで、ワンタッチで即座に車両のボディ曲面形状に柔軟自在に湾曲して磁気吸着する。これは本製品が可撓性のある屈曲可能な材質にて構成されているためである。仮に硬質の部材が一点でもあると屈曲可能にならず、湾曲した車両のボディには掲出が行えないものである。撤去する場合は本製品の端部を持ってめくるように取り外せば即座に撤去が行えるので、不要時には車内等に保管ができる。

【 0 0 5 8 】ゴム磁石シートの磁気吸着作用の利用により車体への一切の取付工事を必要とせず、且つ車体に損傷を与えることも無いことから全ての車両に当該製品が使用できる。更に本車両掲出具は、その厚みが極薄型で、且つフラットで一切の突起が無いため人に危害を与

える心配もない。また落下しても柔軟構造であるため破損することがない。更には高速度運転時にあっても脱落する恐れがない。

【0059】広告物を本車両用掲出具に挿入する場合は、指を広告物挿脱口に掛け開口する。すると磁力にて吸着していた合成ゴムまたは柔軟性のある合成樹脂材の額縁枠体の広告物挿脱口辺、及び可撓性のゴム磁石シートが分離湾曲変形して膨出した形状の挿脱口が形成されるので、即座に片手で広告物をスライド挿入することができる。

【0060】広告物を本車両用掲出具に挿入したことを確認した後、手を引き抜くと、額縁枠体及びゴム磁石シートの材質が持つ剛性復元力で、広告物挿脱口を塞ごうとする力が作用する。と同時にこの部位には、額縁枠体にはゴム磁石棒が、ゴム磁石シートには薄鉄片から成る封止機構設けられているため、広告物挿脱口が磁力にて密着し封口する。

【0061】挿入された広告物は、完全に外気と遮断密閉されるので雨は無論のこと、ホコリや風砂の危害や風や雪等の自然天候から完全に守られると、同時に耐候性、耐久性に富んだ部材にて構成されている故、長期の屋外の掲出にも充分に耐えられる。以上、述べたように本発明の車両用掲出具は極めて取り扱い性に優れている。

【0062】また、本発明の車両用掲出具の製造方法にあっては、押出成形による枠体を切断して、任意の大きさの広告物の額縁枠体を成す故、多様な寸法規格の製品化に対応できる。更に前記、枠体は広告物サイズによって自由にその長さを切断するものであるから、各種多数の高額な成型金型を用意する必要が無いので安価な製品を提供できる。

【0063】また、外観デザイン形状も矩形を初めとし正方形、円形等と、多様な形状・サイズ共に容易に低コストで応じられる。また、額縁枠体、意匠枠体共にユーザーが希望する任意の色彩にすることができる。更に、額縁枠体表面に意匠枠体を設けて加飾したので高級感のある製品を提供するものである。

【0064】また、本発明の車両用掲出具は、枠体を成形する枠体押出成形工程と、該枠体の外面に加飾を施す加飾成形工程と、枠体を切断する切断成形工程と、切断された枠体を額縁形状にする折曲接着成形工程と、枠体の両切断面を接合する接合成形工程と、クリアシートとゴム磁石シートを貼着する貼着成形工程と、最小工程により、且つ短時間で容易に製品化が行える。

【0065】よって、自動車を初めとする電車等の車両を新たな広告媒体のツールとして利用することが可能となったことは、屋外広告の新広告手法「走る広告」として、大きな新たな需要を創造し、その産業に携わる多くの人々に与える影響は大きい。

【0066】また有力な地域限定広告媒体として、広く

中小企業や商店主らに安価で小廻りの利く広告手段として活用され、産業や商業の活性化にも大きく貢献するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の車両用掲出具の斜視図

【図2】本発明の額縁枠体を成す枠体を示す斜視図

【図3】本発明のアルミ箔ラミネーションシートの組成図

【図4】本発明の角切欠部図

【図5】発明の額縁枠体を成す枠体を折り曲げた時の角切欠部を示す斜視図

【図6】本発明の額縁枠体を成す枠体の断面図

【図7】本発明の額縁枠体が受ける風速の風圧を示す説明図

【図8】本発明の額縁枠体の断面図

【図9】本発明の額縁枠体の裏面斜視図

【図10】本発明のゴム磁石シート及び薄鉄片を示す斜視図

【図11】本発明の車両用掲出具の裏面斜視図

【図12】本発明の車両用掲出具の広告物挿入状態を示す斜視図

【図13】本発明の車両用掲出具を自動車に掲出した斜視図

【図14】本発明の円形車両用掲出具の説明図

【図15】本発明の円形車両用掲出具の説明図

【図16】本発明の第2の角切欠部図

【図17】本発明の車両用掲出具の額縁枠体の断面図

【図18】本発明の車両用掲出具の底板とクリアシートを示す斜視図

【図19】本発明の車両用掲出具の底板裏面斜視図

【図20】本発明の車両用掲出具の裏面斜視図

【図21】本発明の車両用掲出具の共締め状態を示す断面図

【図22】本発明の車両用掲出具の他の掲出方法を示す実施例図

【図23】本発明の車両用掲出具の他の掲出方法を示す実施例図

【図24】本発明の車両用掲出具を掲出するスチールアタッチメントの斜視図

【符号の説明】

1 額縁枠体

2 意匠枠体

3 ゴム磁石シート

4 クリアシート

10 角切欠部

15 底板落込段

16 U溝

16a ゴム磁石棒

17 クリアシート落込段

18 広告物挿入間隙

30 薄鉄片

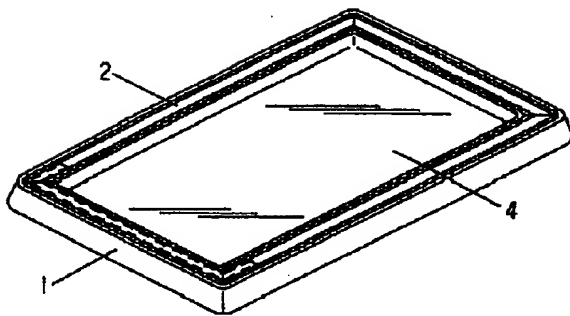
11

12

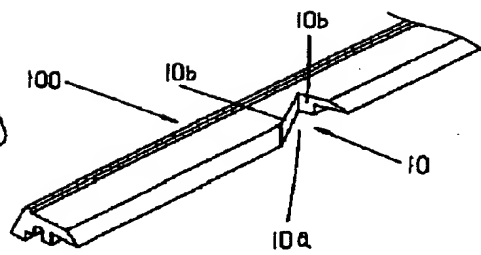
3 1 切欠部  
6 0 額縁枠体  
7 0 合成樹脂シート

1 0 0 枠体  
2 0 0 枠体

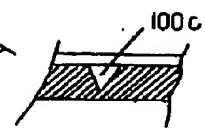
【図 1】



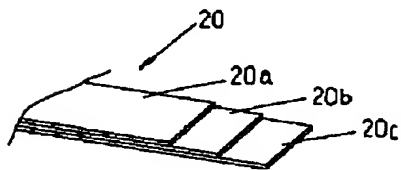
【図 2】



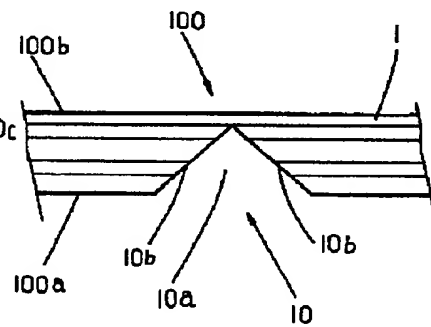
【図 15】



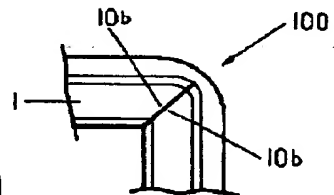
【図 3】



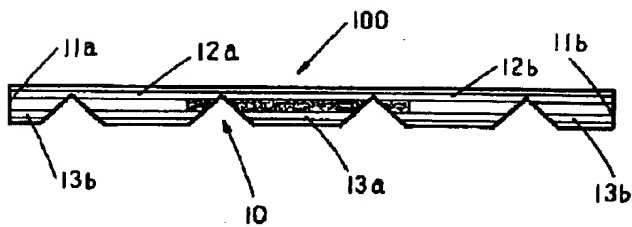
【図 4】



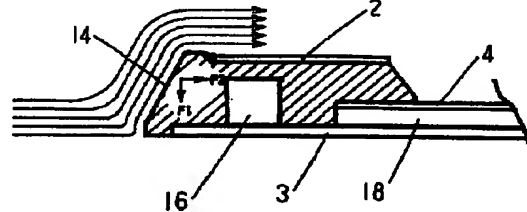
【図 5】



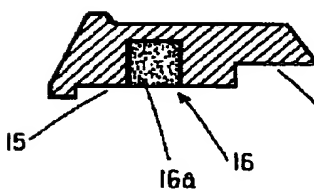
【図 6】



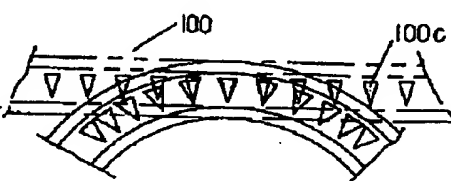
【図 7】



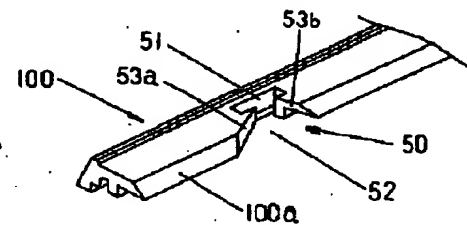
【図 8】



【図 14】

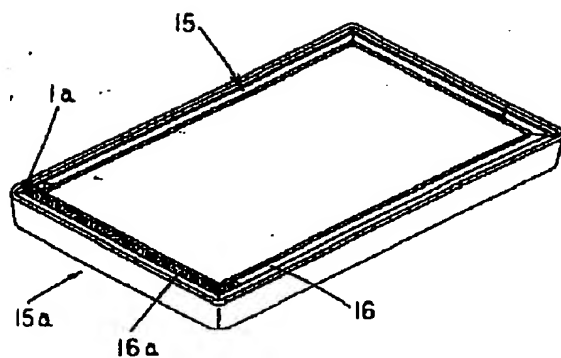


【図 16】

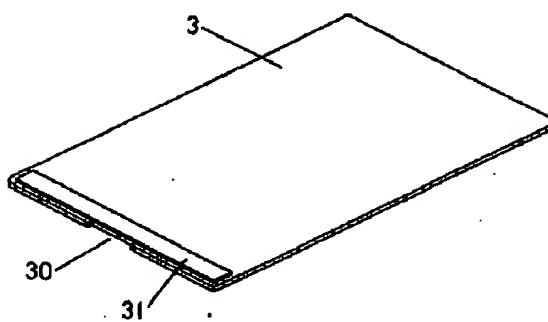




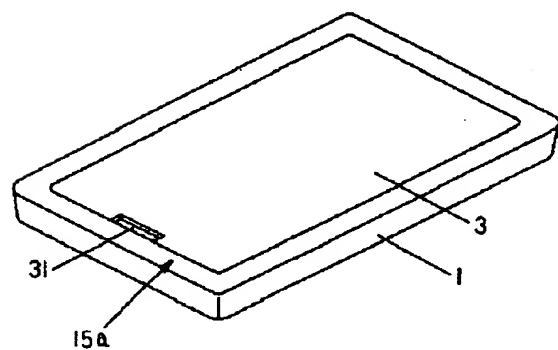
【 図 9 】



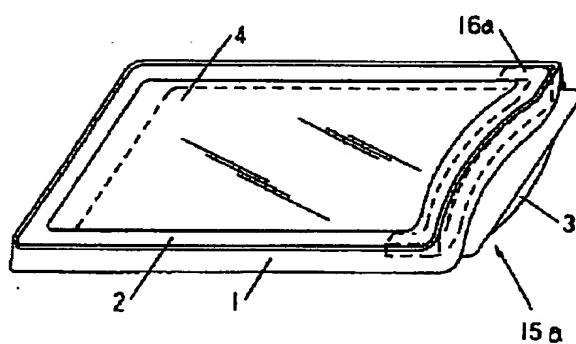
【 図 1 0 】



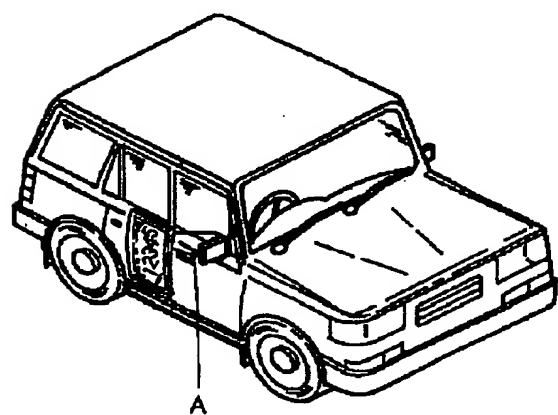
【 図 1 1 】



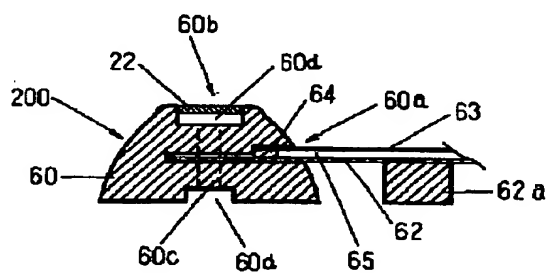
【 図 1 2 】



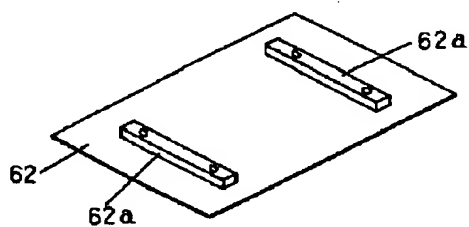
【 図 1 3 】



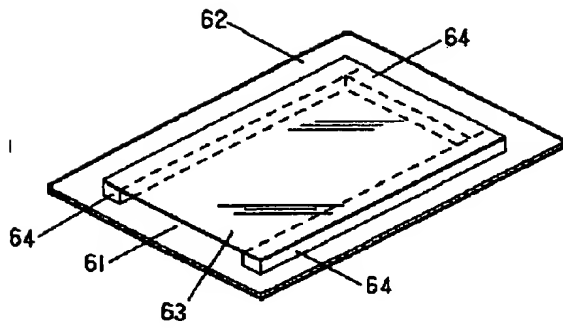
【 図 1 7 】



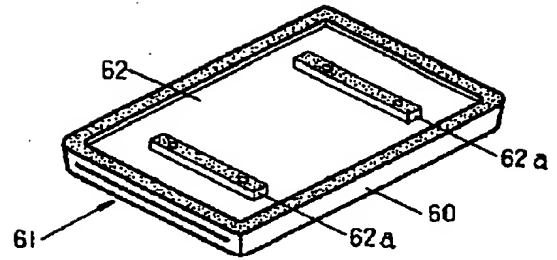
【 図 1 9 】



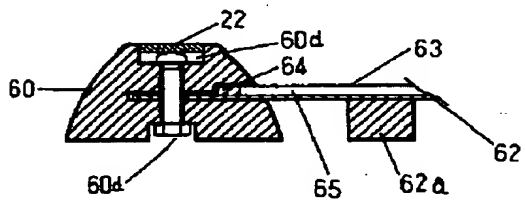
【図 18】



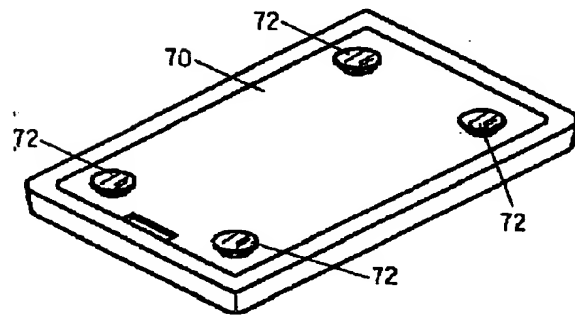
【図 20】



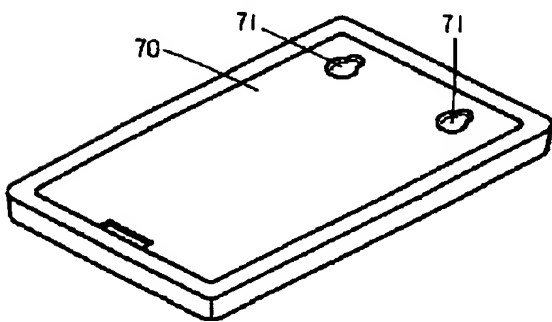
【図 21】



【図 22】



【図 23】



【図 24】

